

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公表番号】特表 2007-509705 (P2007-509705A)
 【公表日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-015
 【出願番号】特願 2006-538115 (P2006-538115)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 16 日 (2007.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ニコチン使用者の角質層を穿刺するようにされており、かつ、少なくとも 1 つのニコチンをベースとする薬剤を有する生体適合性被膜を含む複数の微小突起を有する微小突起部材を含んでなる、ニコチン使用者にニコチンをベースとする薬剤を経皮的に送達するための装置。

【請求項 2】

前記ニコチンをベースとする薬剤がニコチン塩基、ニコチン塩およびニコチンの単純な誘導体からなる群から選択される請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記微小突起の各々がほぼ 1 0 0 0 ミクロン未満の長さを有する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記微小突起の各々がほぼ 5 0 0 ミクロン未満の長さを有する請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記微小突起の各々がほぼ 2 5 0 ミクロン未満の長さを有する請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記生体適合性被膜が少なくとも 1 つの湿潤剤を更に含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記生体適合性被膜が親水性ポリマーを更に含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記生体適合性被膜が界面活性剤を更に含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記生体適合性被膜が両親媒性ポリマーを更に含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記生体適合性被膜が血管収縮剤を更に含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

前記生体適合性被膜が生体適合性キャリアを更に含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 12】

前記生体適合性被膜がほぼ 5 0 ミクロン未満の厚さを有する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 13】

前記生体適合性被膜がほぼ 25 ミクロン未満の厚さを有する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 14】

接触表面を有するアプリーターを更に含んでなり、かつ、前記微小突起部材が保持器により前記アプリーター上に取り外し可能なように搭載されており、そして活性化時には前記アプリーターが前記接触表面を前記微小突起部材と接触せしめ、そして前記微小突起部材がニコチン使用者の角質層に 10 ミリ秒以下で微小突起部材 1 cm^2 当たり少なくとも 0.05 ジュールのパワーで当たる、請求項 1 に記載の装置。